

令和3年度の主な事業

 一つ一つの工事にたくさんのお金がかかると思うけど、令和3年度はどこが整備されるの？

 具体的にどんな事業を進めていくか、下に挙げている主な工事内容を見てみよう。

 これらの整備だけでもたくさんのお金や時間がかかるんだね。津市の下水道処理人口普及率は全国的にも低いつて聞いたけど、どれくらい整備されたの？

 令和元年度末で、まだ50.6%なんだ。
※全国平均79.7%(令和元年度末)

 たくさんの工事費用がかかるけど、汚水処理施設や管路が完成しても、すぐに下水道使用料の収入はないんでしょ。

 雨水処理の財源は税金で賄われるけど、汚水処理施設は下水道使用料で運営しているから、利用が可能になった地区から順にみんなが早く接続して、施設を効率的に利用することが必要だね。

着工から約20年の歳月を要した志登茂川浄化センターの運用が平成30年4月によりやく開始されたから、重点的に志登茂川処理区内の整備を進めているよ。

主な工事内容

公共下水道 約24.9億円

- 志登茂川処理区
 - ・津北部地区(津北部第13処理分区など)
 - ・河芸地区(上野処理分区など)
 - ・安濃地区(曾根西処理分区など)
- 雲出川左岸処理区
 - ・津地区(津第5-1処理分区など)
- 管更生

雨水管 約8.9億円

- 半田川田第1雨水幹線…令和2～4年度の継続
- 町屋第2雨水幹線…令和3・4年度の継続

雨水ポンプ場 約10.1億円

- 半田川田ポンプ場(3号ポンプ)…令和3・4年度の継続
- 天神ポンプ場(1号ポンプ)・沈砂池など…令和2・3年度の継続

※金額はいずれも令和3年度の事業費(税込み)

雨水管・幹線工事の様子



雨水幹線は、大雨の時に道路側溝などから集まった雨水を河川へ安全に放流し、街を浸水の被害から守るための重要な水路です。

写真は、江戸橋二丁目(栗真町屋排水区)の工事の様子で、高さ2m、幅2mのボックスカルバートというコンクリート製の箱型暗渠を埋設している様子です。

汚水管・管更生の様子



老朽化した汚水管の修理や耐震化をする時は、内側を特殊な加工で改築する管更生工法を採用しています。道路を掘り返さず工事できるため、安価で短期間の施工が可能です。

老朽管を放置すると、ひび割れた所から雨水が混ざって汚水処理費用がかさむことにもなります。